大雨警報に伴い避難所開設７/6～7/8

中国新聞　2020年（令和2年）7月8日（水曜日）

避難所 初の住民運営 東広島

開設スムーズ 体力面に不安

東広島市は、公設避難所運営の一部を住民が担う独自制度を導入している。今回の大雨では各住民自治協議会が初めて避難所の解錠や避難者の対応に当たった。開設はスムーズに進んだが、住民側からは、体力的な負担や、避難者が増えた場合の対応を課題に挙げる声が出ている。

河内町入野の自治組織「篁の郷」は6日午後5時、入野小の体育館を開けた。入野川の水位上昇で周辺に避難勧告が出たこともあり、川に近いグループホームの入所者を含む最大22人が身を寄せた。堀内勇社会長（65）ら2人が泊まり込み、市への定時連絡や施設の用意のほか、新型コロナウイルス対策として間仕切りなど備品の設置に当たった。

堀内会長は、「情報が少なく、不安だった。避難者が増えれば人手が足りず、要望に対応できないだろう。組織として課題を検証する」と話していた。

板城西地区拠点施設で、マスクや消毒液を用意する住民自治協の西野木事務局長＝手前（6日午後7時）

板城西住民自治協（黒瀬町）も板城西地区拠点施設を避難所として開設。2人が12時間交代で常駐した。夜間を担当した西野木清事務局長（63）は「運営側が顔見知りなら避難者も安心できる。ただメンバーは比較的高齢で体力面が心配」と語った。6日夜の避難者はゼロだったが、なかが仮眠できなかったことに感染症対策で消毒液などが足りなかったが、施設には部屋数が少なく、体調不良者の対応が課題だ」と話した。

市は、市内46カ所の公共避難所の運営を住民組織にするとともに、協力する人への交付金制度を設けている。現在36カ所を住民組織が受け持ち、終日運営する。入野や板城西など12団体は9日の運営は9団体、解錠が15団体となっている。

初の実践となった今回、市の要請通り6日午後6時、全施設が開かれた。最大11世帯175人が避難した。市危機管理課は「スムーズな開設に感謝する。今後、要望を聞きながら進めたい」としている。

（長久豪佑、堅次宣

入野篁の郷一斉メール登録会.

河内スポーツアリーナクリーン作戦 7/19

【避難所開設について】

入野小学校区の避難場所はこれまで集会所や地域センターなどでしたが、今年度からは『入野小学校体育館』に統一されました。

市からの避難所開設の指示と同時に入野自治組織篁の郷の役員が避難所を開設し常駐します。

川の増水や土砂災害の恐れが高くなっているときには動けるうちに早めの避難をお願い致します。

避難の際は、ご自身の食料やマスクや毛布など、可能なら持参してください。

先日の大雨の際は数十名の避難者が来られ、篁の郷役員と民生委員が対応しました。

ひがしひろしまし 市民協働のまちづくり
市民活動情報サイト

こちらのＱＲコードからでも
アクセスすることができます。
地域の情報をお探しの方はお試しください。